

提案型協働事業報告書 (活動支援交付金)

<p>団 体 名</p>	<p>TAKETOYO COMMUNITY PARK (TACOPA)</p>
<p>1 該当する第6次総合計画の9つのまちづくりの目標</p>	<p>8.多様な主体が連携・協働するまち</p>
<p>2 解決へ向けて取り組んだ地域課題</p>	<p>コロナ禍で住民同士の繋がりが希薄化。地域活動に対する担い手不足。 地域住民の繋がりを創出し、まちづくりに興味を持つ人材の発掘と育成を行う。</p>
<p>3 協働対象部署</p>	<p>企画政策課</p>
<p>4 事業の内容等</p> <p>(1) 事業内容と方法 (2) 実施場所 (3) 対象者 (人数等具体的に) (4) 事業PRの方法 (5) その他</p>	<p>(1) ・武豊町を中心とした地域住民がコミュニティ活動に参加することで住民同士のつながりを作る。 ・コミュニティ活動に参加した地域住民へ、武豊町の提案型協働事業及び協働連続講座の案内をし、地域住民と武豊町とのつながりをつくる。 ・地域課題解決を目的としたコミュニティへの活動支援と初動サポート。 ・地域コミュニティが活性化することで武豊町の魅力を高め、武豊町民自ら積極的に協働活動を参加し、地域課題の解決に向け活動する仕組みを作る。</p> <p>①プロギング活動 ゴミ拾い&ウォーキング (ジョギング) ②モルックイベントの開催 フィンランド発祥の木を使ったスポーツ</p> <p>③草刈りレンジャーズ 草刈り講習会の実施し地域住民と交流と公園アメニティの向上。 ④まちの交流会たまり 交流会の定期開催 (3回/年) ⑤移動式プランター事業 地域住民との交流する仕組みづくり。 ※令和6年度製作プランターの維持管理と活用方法の構築。 ⑥ゆるスポーツアワードチャレンジ</p>

	<p>ご当地ゆるスポーツアワード（令和 7 年 10 月～）へ応募するため、製作ワークショップを開催。地域住民と繋がりみんなで協力し</p> <p>一つの目標に向けてチャレンジすることでココミュニティレベルの向上と</p> <p>まちづくりの人材発掘を狙う。</p> <p>⑦企画政策課とまちづくりワークショップ 武豊町在住の高校生~22 才対象に無作為抽出した若者限定 プランクスツェレの手法を採用。</p> <p>⑧ミニ防災イベント 多世代が参加しやすく楽しみながら防災について学べる</p> <p>体験イベント開催。（近隣地域のイベント視察も含む）</p> <p>(2)武豊町内 (3)武豊町民及び周辺市町住民 5 万人 (4)S N S (Facebook、Instagram)、広報</p>
<p>5 事業実施により得られた効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ユース世代の主体的な参画と次世代の担い手創出 「ユースアクション」を通じて高校生から 22 歳までの若者が企画段階から携わる仕組みを確立した。その結果、令和 8 年度の「ロゲイニング」プロジェクトリーダーを若手が務めるなど、武豊町で活躍する多才な若手メンバーが加入。運営メンバーが 11 名から 16 名へと増え、組織の厚みが増した。さらに、本事業の参加者が自ら新たな団体を立ち上げ、令和 8 年度の提案型協働事業へ応募するに至るなど、次世代の担い手育成において極めて具体的な成果が得られた。 ・「ご当地ゆるスポーツアワード」入選による地域魅力の発信 地域住民と開発した「みそリンピック~だいのきもち~」が、全国 47 作品の応募の中から 9 つの入選作品（最終候補）に選出された。この快挙は参加者の自信とシビックプライドを大きく醸成し、伝統の「たまり・味噌文化」を多世代が楽しめる形で発信する成功モデルとなった。 ・活動の定着とコミュニティのハブ機能強化 令和 6 年度からの継続事業（プロギング、モルック等）が住民の交流の場として定着し、そこでの出会いが住民による自主的な企画や、新たな活動（防災イベント等）へと繋がる「協働のプラットフォーム」としての機能が強化された。

<p>6 次年度以降の 事業展開</p>	<p>・新メンバー・新団体との連携による「たまり文化」の発信 令和 7 年度に加入した若手メンバーや、新たに誕生したユース団体と密に連携し、彼らの感性を活かした「たまり染めTシャツ作り」や「たまり研究室」等の新規事業を展開する。アワード入選の実績も活用し、若者が主体となる「TACOPA 交流会（令和 9 年 3 月予定）」の開催に向け、官民連携の枠組みを一層強固にする。</p> <p>・多機能型イベントによる地域課題解決の推進 ゆるスポーツの知見を活かし、武豊中央公園での「スポーツ＋防災イベント」を定期化・発展させることで、健康増進と意識啓発を同時に達成する。層の厚くなった新旧メンバーが協調して運営にあたることで、多世代の繋がりを深化させ、持続可能なコミュニティ形成を加速させる。</p>
<p>7 その他</p>	

※ 記入欄が不足するときは、別紙を添付してください。